

平成30年度 調布市立第三小学校 学校評価報告書

様式1

領域	自己評価結果の概要	学校関係者評価結果の概要	次年度への改善策	次年度優先順位
学力向上	<p>○確かな学力の定着を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると児童と保護者は約90%を占める。教員は約80%にとどまっている。</p>	<p>○データから学力の定着についてはほぼついていっているととらえる。「体験型学習に興味のきっかけとなり、学習に結びついていっていると思う。」「子供たちが自ら考え、自らの言葉で話す授業が増えている」等の声が寄せられている。昨年度、調布市教育委員会の研究推進校として研究を積み重ねてきた成果が保護者や児童に伝わっていることがうかがえる。引き続き「主体的、対話的で深い学び」の授業に取り組んでほしい。</p>	<p>○授業改善推進プランを活用し、学力向上に向けて取り組む。 ○調布ベーシックプランの下、東京バーサッドリルの活用を図る。 ○プログラミング的思考の育成を目指した指導を通して児童が「分かった」「できた」「もっとやりたい」と思える授業づくりを目指す。 ○ペアトーク、グループトーク、ディスカッションにより、友達の考えと自分の考えの差異を見つけ互いに高め合う授業にしていく。</p>	A
	<p>○外国語教育の推進を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると教員のは約90%を占める。保護者は80%にとどまっている。</p>	<p>○データから外国語活動の推進ができていっているととらえる。3年生以上の外国語活動の授業の他にAET (Assistant English Teacher)の先生と全クラスの給食交流も行っている。「2年生なので授業はないが、外国の方がクラスへ来て交流をもってくれたことがあり、とてもよいと感じた。」という声をいただいた。5、6年生が教科となる2年後に向けて準備を進めてほしい。</p>	<p>○授業時間増加の外国語活動について「Hi, friends」「Welcome to tokyo」を活用し指導法を工夫する。 ○2年後の完全実施に向けて準備を行う。</p>	B
健全育成	<p>○いじめゼロ（完全解消）の継続を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると児童、保護者、教員ともに95%を超える結果であった。特に教員は100%に近い達成率であった。</p>	<p>○データから他の人に思いやりの気持ちをもって接することができているととらえる。「息子は学校が楽しいようです。毎日の授業や学校での活動を家でたくさん話してくれます。」「6年間の学校生活の中で子供が友達を悪く言うことは一度もなくとてもよい友達に恵まれた。皆仲良く、真面目で立派です。」というお声を多数いただいた。人間関係を築くことができている。今後も一人一人丁寧な対応を継続してほしい。</p>	<p>○「危機管理対応マニュアル」「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき、事件や事故・いじめを未然に防止する。 ○定期的にアンケートを行い、より一層実態把握に努める。</p>	A
	<p>○豊かな心の育成を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると保護者と教員は約95%を占めている。特に教員は100%に近い達成率であった。</p>	<p>○データから豊かな心は育ってきているととらえられる。「面識のない私に明るく気持ちのよいあいさつをしてくれる。」というお声をいただくことができた。校内研究で特別の教科 道徳を取り上げて、研究を進めているようなのでこれからも継続してほしい。</p>	<p>○道徳教育推進教師を中心に特別の教科道徳「考え議論する道徳」へ変革する。 ○全体計画・年間指導計画・別様を活用し道徳教育の充実を図る。 ○道徳地区公開講座を活用し保護者、地域の協力を得て心の育成に努める。 ○校内委員会を適宜開催し、児童一人一人のニーズに合った支援を行う。 ○カルカセラ、特別支援教育コーディネーター、スクールポーター、学校と家庭の連携推進事業の支援員、スーパーバザー、関係諸機関と連携し個に応じた対応をする。</p>	A
健康・体づくり	<p>○体力向上を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると保護者と教員は80%、児童は約85%であった。</p>	<p>○データから体力はほぼ身に付いているととらえる。「マラソン旬間やプールなどについては成し遂げた達成感をもっていった。」「ハードルや高飛び等、だんだん難しい競技に挑戦できている。」という声から、授業や体育的活動の様子をご理解いただいていることがうかがえる。しかし、保護者と教員はもう少し体力をつけたいと思っている。これまで以上に児童が積極的に楽しく取り組めるよう家庭と学校が連携を図っていく必要がある。</p>	<p>○マラソン月間、なわとび月間などを利用して成果を目指す。 ○体力テストの実施方法の再確認を行い、徹底させる。 ○「わくわくタイム」「ロング昼休み」を活用し、体力向上を図る。 ○授業改善に取り組み、楽しみながら学習に参加できる工夫をする。</p>	B
	<p>○食育の推進を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると教員は95%、保護者は98%の達成率となった。</p>	<p>○データから食育の指導やアレルギー事故防止に対する取組はできているととらえる。「給食は手作りでメニューのくふうや食育がとてもよくできていると思う。家では好き嫌いがあるが給食は楽しく食べているようです。」や「献立が工夫されていて様々な国の料理や旬の食べ物など食育にも力を注いでいることが分かる。」等の声が寄せられ、給食指導も含めた食育の効果が感じられる。</p>	<p>○保護者と学校が連携し、アレルギー事故ゼロを継続させる。 ○教職員の訓練によりアレルギー事故ゼロを継続させる。 ○栄養士と担任による食育指導の充実を図り食育への関心を高める。 ○世界の料理や和食についてさらに充実させていく。</p>	B
保護者・地域との連携	<p>○広報活動を推進し、情報発信に努め学校教育の理解を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると教員は100%、保護者は98%の達成率となった。</p>	<p>○データから情報発信の状況が十分であるととらえる。「仕事をしていますが情報が遅いと思ったことはないです。助かります。」「学年使いが充実している。」「ホームページが充実している。写真の入った校長通信が素晴らしいです。」等の声が寄せられている。「変則登校時は、確実にメールを見ることが出来る時間帯にしてほしい。」というご意見もあった。今後も、充実した情報発信を望む。</p>	<p>○校長通信、ホームページの更新を週1回以上行い、一層情報発信に努める。 ○移動教室の折には速報で様子を知らせる。 ○台風などの対応については教育委員会の方針を受け、年度当初に確認文書を出すとともにホームページに掲載し、いつでも見られるようにする。</p>	B
	<p>○保護者・地域との連携を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると教員は100%、保護者は98%の達成率となった。</p>	<p>○データから保護者・地域との連携は十分であるととらえる。「地域運動会、おもつき等に参加したがとても楽しかった。」「周年行事もそうですが、先生や地域の方がとても楽しく参加する機会がたくさんあり、本当に三小は素敵だと思います。」「先生方もお忙しい中、地域活動に参加いただきありがとうございます。参加いただくことで地域・保護者・子供の一体感を感じます。」等の声が寄せられている。今後も継続することを臨む。</p>	<p>○地域行事に積極的に参加し、コミュニケーションを図る。 ○「ちょうふ花園」を訪問し、高齢者との交流を深める。 ○農業体験をはじめとし、地域の施設や人材を活用する。 ○次年度より設置される地域学校支援協働本部の活用を図る。</p>	A
特色ある教育活動	<p>○読書の習慣化、異学年交流を通して情操豊かな人間関係の育成を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせても教員は約75%、児童は70%保護者は約60%にとどまっている。</p>	<p>○データから読書については課題がみられることが分かった。「興味のある本が学校にあることはたいへん素晴らしいことだと思います。」と、お声が寄せられている。しかし「読書と給食を連動させ、絵本や物語に出てくる食べ物を実際に食べるという経験をしてもらいたい。」というご提案もある。今後も様々な活動を考えていってほしい。</p>	<p>○PTAサークル「とらいあんぐる」による読み聞かせを活用する。 ○保護者やとらいあんぐるOGの方々の読み聞かせを活用する。 ○図書委員会児童による読み聞かせを充実させる。 ○6月、11月の読書旬間の取組を活用する。 ○ブックメニューの取組の回数を増やし、定着させる。 ○1月「本の福袋」の取組を大切に継続させる。</p>	A
	<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進を図ることができたか。 ・Aあてはまる、Bややあてはまるを合わせると教員は100%、保護者は85%となった。</p>	<p>○データからオリンピック・パラリンピック教育の推進が図られているととらえる。今年度は、フェンシング、ポッチャ、ウィルチェアラグビー等の体験や水墨画体験や和楽器、民謡等日本の伝統文化について学んだ。外国の方々との交流で国際感覚を育成していることが見て取れる。「オリンピック・パラリンピック教育の推進はこどもたちにとってよい経験になると思います。」というご意見も頂いている。今後も継続させていってほしい。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック学習読本を活用する。 ○発達段階に応じて体育的・文化的行事の体験を充実させる。 ○調布市小学生タグラグビー大会への出場により意識を高める。</p>	A